



Super GT Round 2
Fuji Speedway
2024/05/03-04

General Comments:

先日、Super耐久での走行中に大きなクラッシュに見舞われ、数日間入院していました。MRI検査の結果、骨と神経に異常はなくホッとしましたが、筋肉へのダメージはありました。今大会に向けて時間がない中、多くの時間をリカバリーに費やしたので、「大丈夫」だとは思っていましたが、多少不安があったのは事実。こんな時に大事なのが、恐れない心と気持ちの強さ。「気持ちで乗り越えてやる」と強い想いを持って挑みました。

Qualify : P9

今回のQF1はBaguette選手が担当。アタック自体とても上手いき、7番手タイム1'27.243をマーク。ここから続けて自身もアタックしなければならないので、マシンから降りてきたBaguette選手と何周目にアタックを行うか等を話し合いました。そして、自身が担当したQF2では4番手タイムの1'27.379をマークしました。この2人のタイムを合算すると2'54.622となり、決勝は5番手からスタートする事となりました。

450km Race : P11

今大会のレースは3Hで行われ、Baguette選手→平峰→Baguette選手の順番で進める事となりました。そして、レースはスタートが切られ、Baguette選手は5番手のポジションを死守し続け順調に第1Stintを走行していました。第2Stintのタイミングが近づき自身も準備をしていたのですが、予定が変更となりBaguette選手はそのままダブルStintを担当する事となりました。ダブルStintとなると70周程走り続ける事になり、肉体的にはかなり大変だと思います。しかし、Baguette選手は終始安定した走り続けてくれて、73周目にピットインし自身へ交代。ピットアウトした瞬間から直ぐにバトルが始まり、出だしから非常に興奮してたまらないStintでした。何とかペースを維持しようと色々な走りを試していたのですが、背後からくるライバルの38号車にパスされてしまい、6番手に後退。その後118週のレースを消化し、6位でレースを終える事となりました。



悔しいがこれが現実

スポンサーの皆様、第2戦富士の応援有難う御座いました！
正直なところ、長い周回を走り続けると腰の痛みがぶり返すのではないかと不安なところもありましたが、最後まで痛みを感じることなく戦い抜くことが出来、安心しました。

今後もしっかりとケアとトレーニングを行い、戦っていきます。
レースの結果に関しては、非常に悔しい結果となり全体的にペースが足りない状況が続きました。

しかし、シーズンを通して大事なポイントは持ち帰れたので、その点に関してはポジティブだったと思います。

次戦は鈴鹿。

ここでは優勝争いにしっかりと入り、全力で戦いに行きます。
引き続き、応援を宜しくお願い致します！！！！



32

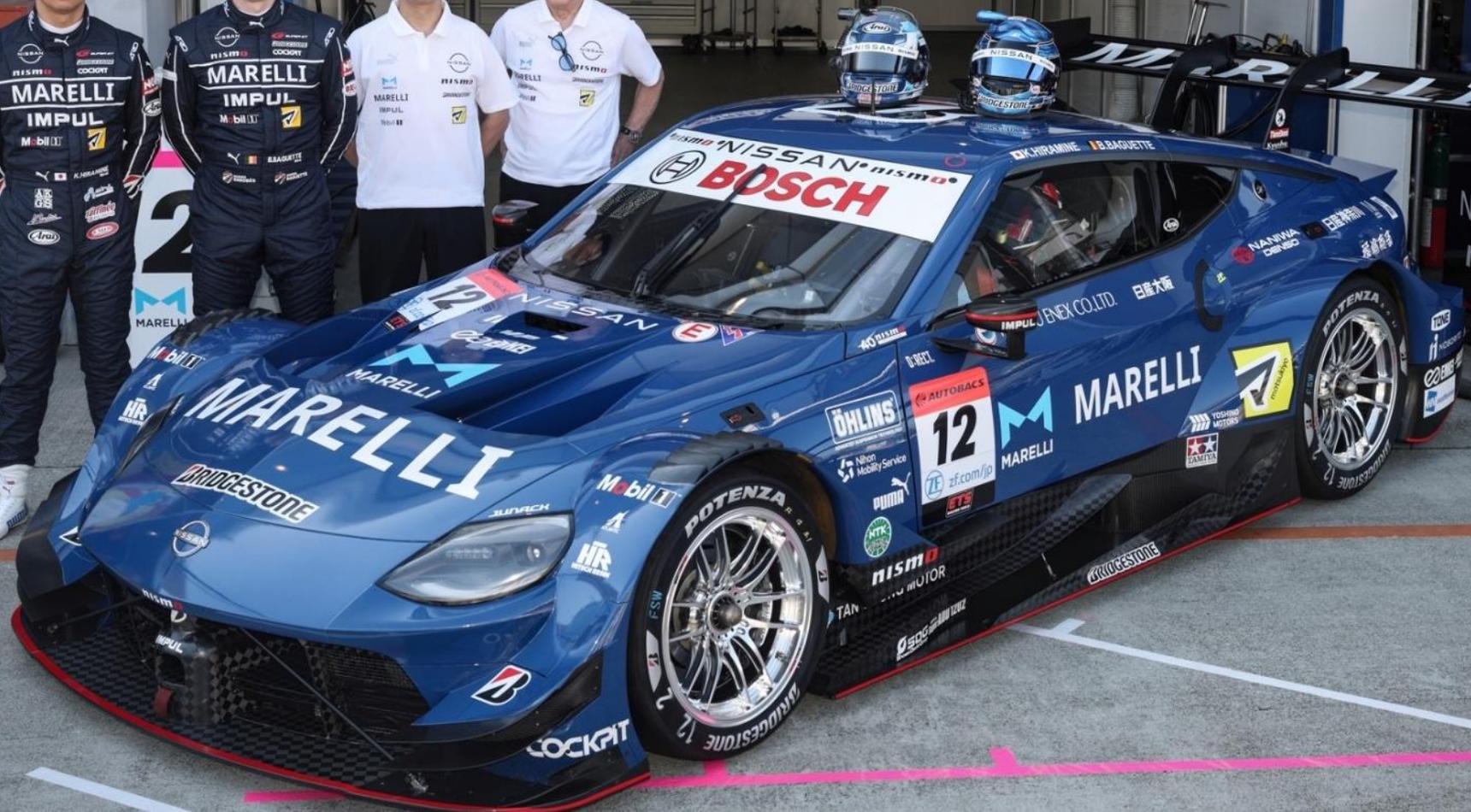
MARELLI
TEAM IMPUL 12

K.HIRAMINE
B.BAGUETTE



32

MARELLI TEAM IMPUL 12 K.HIRAMINE B.BAGUETTE





NISSAN

BRIDGESTONE

raffinée
SUBESWIFT

air-j
MORE ACCESSORY

Strac

Designs Paints